

# 東京支部からの便り

何といっても今年5月に4年ぶりの念願の支部総会を学士会館で盛大に開催できたことが最大の成果だろう。山極壽一前総長、総合地球環境学研究所所長に「人類はどこで間違っただのか」という今まさに考えなければいけないテーマで講演いただき、依田高典経済学研究科長兼経済学部長に経済学部の来し方行く末について明快なお話をいただき、今年1月に就任された柄澤康喜支部長からは今後の同窓会支部活動についての抱負が述べられた。今回の支部総会に

ついては、キャッシュレスやDX、ダイバーシティを踏まえた世代を超えた交流、SNSの活用など、有志による準備プロジェクトが中心となり同窓会をアップデートすることも企図され重要な一歩を踏み出した。また、諸富徹教授、田中彰教授、草野真樹教授にもご出席いただき卒業生の皆さんと交流をしていただいた。参加者総数は160名に上った。

この一年を振り返ると、いまだオンライン開催ではあったが、昨年7月に第59回経済懇話会として日本総

研山田久



副理事長をお招きして、今日の大きな問題である「わが国の背景と処方箋」について、貴重な機会を得た。そして、混迷を極める国際情勢の中で、どのよう

求められるかという点につき11月の第60回経済懇話会で京都大学大学院経済学研究科牧野成史教授から「国際経営2.0」という示唆に満ちたご講演をいただいた。年が明けて1月には「新春経済交流会」を開催した。第一部では依田高典教授より「京都大学経済学部の現状と課題」をお話しいただき、第二部では京大この会の全面的なご協力を頂戴し「未来を拓くダイバーシティ、女性活躍のあゆみを振り返り、未来を志向する」というパネルディスカッションを行った。モデレーターにはSMB Cオペレーションサービス(株)取締役副社長かつこの会の会長も務められている浅山理恵氏を迎え、中森



依田高典教授



山極壽一前総長

真紀子氏(中森公認会計士事務所代表/伊藤忠商事(株)社外取締役)、絹川幸恵氏(みずほビジネスパートナー(株)代表取締役社長)、岩島史氏(京都大学大学院経済学研究所 講師)の論客をパネリストに、東京支部常務理事の荒木も加わって、未来に向けて建設的な議論が展開された。この間、常任理事会2回、理事会を3回いずれもオンラインで開催した。

京都大学経済学部同窓会 東京支部 第33期総会

京都大学経済学部同窓会 東京支部 第33期総会

## 京都大学経済学部同窓会東京支部 第32期(2022年度)東京支部収支決算書

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
支部活動援助金(会員)	431,070	イベント経費	200,000
預金利息	75	事務費・会議費	309,437
		振込手数料	2,640
≪小計(第32期収入額)≫	431,145	≪小計(第32期支出額)≫	512,077
前年度繰越金	5,139,858	剰余金(次年度繰越金)	5,058,926
合計	5,571,003	合計	5,571,003

(注1) 収入の部は、支部活動援助金(本部)は昨年度に引き続き支部総会延期につき無く、各種イベントもオンラインにて無料開催としたため、会員からの支部活動援助金と預金利息のみ。  
(注2) 支出の部のイベント経費については、第59回、第60回の経済懇話会及び新春経済交流会の講師料。

(注3) 単年度の総収支は、29期▲1,153,934円、30期60,416円、31期は113,909円であったが、32期は▲80,932円となった。

### 財産目録(2023年3月31日)

種類	預入先	金額
定期預金	りそな銀行日本橋支店	4,002,344
普通預金	りそな銀行日本橋支店	371,713
普通預金	三菱UFJ銀行日本橋中央支店	684,869
合計		5,058,926

京都大学経済学部同窓会  
東京支部長 柄澤康喜 敬

### 第32期支部会計監査報告

京都大学経済学部同窓会東京支部収支決算書(2022年4月1日より2023年3月31日)についての監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

2023年4月7日

京都大学経済学部同窓会東京支部

監事 谷口浩章  
監事 河毛正志